

後藤 武薫 議員

(一括質問方式)



- ①市長 1 期目の総括と 2 期目に向けた抱負、公約
- ②令和 4 年度当初予算
- ③第 1 次産業

市長 1 期目の総括と 2 期目に向けた抱負、公約について

問 1 期目の総括と 2 期目に対する抱負や公約を発信してほしい。

答 私は、今日まで「チェンジ」、「コラボレーション」、「チャレンジ」、「コミュニケーション」をまちづくりの基本姿勢として、4 つの C による四輪駆動で力強くまちづくりを前進させるため、全身全霊で市政運営に取り組んできました。平成30年 7 月豪雨やコロナ感染拡大の影響の中、皆様のお力添えをいただき、私なりに何とか頑張れたというのが 4 年近くを振り返っての心境です。

2 期目に挑戦するに当たり、4 つの C に市民と手を取り合って新たな価値を創造していくという意味を込め、「コ・クリエーション」、共創の C を加えた 5 つの C をまちづくりの基本姿勢として、持続可能で魅力あふれる大洲市づくり、いわゆる S D G s の推進に取り組み、道半ばとなっている施策や抱える課題を解決していきます。

そのため、最優先課題の「復旧・復興と安全・安心のまちづくり」、産業、観光、農林水産業の「活力あるまちづくり」、誰もが生涯にわたって安心して生活するための「健やかに暮らせるまちづくり」、未来を担う子供たちのためオンリーワンな「誇れる郷土のまちづくり」、住んでよし・訪れてよし・次の世代でも住み続けたいと思える「住み続けたいまちづくり」の 5 つの目標の実現に邁進してまいります。

再び皆様の信任をいただけるのであれば、5 つのまちづくりの実現に向けて最善を尽くします。引き続き、人、自然、文化がきらめくまちづくりを目指して、市民と共に力を合わせ、チーム大洲で災害からの復旧・復興を成し遂げ、きらめく大洲の復活と市民が幸せを実感できるウェルビーイングな町となるよう、全力で取り組んでまいります。

令和 4 年度当初予算について

問 令和 4 年度当初予算は、どのような方針で編成したのか。

答 令和 4 年度予算編成では、アフターコロナの新たな日常に向けた様々な取組を実施するため、多額の予算が必要となりますが、大切な財源である地方交付税や市税などは今後多くは望めず、厳しい財政状況が続くことが見込まれています。今やらないと後年度に積み残してはならない事業もあります。将来にわたり持続可能な行財政運営を確保、確立するために、優先的な事業の取捨選択を行うなど、歳入に見合った予算規模となるよう歳出の削減を図りつつ、必要とされる施策に対しては、安定的かつ継続的に財源を措置することとしました。

今後は、大洲市健全な財政運営のための基本指針に基づき、事業の実施時期の見直しを図るなど、財政負担の平準化を行いながら、健全財政を堅持したいと考えています。

第 1 次産業について

問 平成30年 7 月豪雨災害での第 1 次産業関連の被害は、復旧が完了したのか。

答 農林水産業では、市内で約750ヘクタールの農地が冠水し、農作物、機械類や施設の浸水のほか、漁港や山間部でも土砂堆積や崩壊など、過去に経験のない甚大な被害を受けました。具体的には、農地などの基盤関係、関連施設などの経営関係でその被害額は55億4,400万円と試算しています。

復旧では、国、県の補助事業を積極的に活用するとともに、補助要件に該当しないものは、市独自の事業を設け、一日も早い復旧・復興を目指し取り組み、基盤関係は、総事業費 4 億2,170万円で、令和 2 年度末の復旧率は96%、3 年度末で完了する見込みです。経営関係の事業では、個人農家の方などを対象としたビニールハウスや農業用機械の支援を行う被災農業者経営体育成支援事業のほか 6 件の事業の総事業費は11億3,220万円で、令和元年度末で全ての事業が完了しています。

第 1 次産業全体では、令和 2 年度末での復旧率が 99%、令和 3 年度末で完了する見込みです。